



西原小学校では、昨年度から「自己を見つめ、他者のよさに気づき、互いに認め励まし高め合う子どもの育成」をテーマに、子どもたちの自己肯定感を高めることを目指して研究をしています。

今年度も、本校での研究の様子や取組を紹介し、子どもたちのキラリと輝く言葉や行動を取り上げる「キラリ通信」を年7回発行します。学校と家庭が協力し合い、思いを伝え合うことができる通信にしていきたいと考えています。第1号では、①育てたい子どもの姿 ②学校での取組 ③家庭での取組 ④1年目の成果と課題 ⑤2年目の新たな取組 についてお伝えします。

学校での取組

- ペア活動やグループ活動を意図的に行い、一人一人のよさを伸ばす指導を進めていきます。
- 振り返りの時間を充実させ、お互いのよさに気づく機会を設定します。
- 学級道徳コーナーや学年キラリコーナー、学校キラリコーナーに、言葉や行動を認める掲示を行い、心を育てる設営を工夫します。また、学校キラリコーナーに届いた先生方や子どもたちが見つけたキラリを放送で紹介します。
- 学級週報等で素敵な行動や発言を紹介します。

育てたい子どもの姿

善悪の判断、周りへの思いやり
が身についた自己肯定感の
高い子ども

自分の
よさに気づき
自己を
見つめる
子ども

自己理解

他者の
よさに気づき
他者の表現を
受容する
子ども

他者理解

相互に
関わり合い
ながら
互いに認め
励まし合う
子ども

認め合う力

家庭での取組

- 役割をもたせ、頑張りを認め、感謝の気持ちを伝えましょう。
- 学校の様子を聞いてみましょう。思いを受けとめ、努力を認める声かけをしましょう。
- 地域の行事に積極的に参加し、多くの他者と関わる経験をさせましょう。
- 学期末に持ち帰った道徳ノートに、学習した内容が日常化されていることなどへの励ましを記入しましょう。
- 学級通信のキラリコーナーを見ながら、子どもさんをたくさん褒めましょう。

1年目の成果と課題

令和2年9月と2月に実施したアンケート結果より（は2回目が上昇 は2回目が下降）

項目	2年（現3年）	3年（現4年）	5年（現6年）	6年（現中1）
自己理解	0.2ポイント	0.04	0.02	0.05
他者理解	0.05ポイント	0.07	0.01	0.02
認め合う力	0.13ポイント	0.02	0.07	0.11

10月に実施した HUMAN BEING の結果より

項目	1年（現2年）	4年（現5年）
共感する力	3.3ポイント（全国平均3.3）	2.5ポイント（全国平均2.9）
振り返る力	3.3ポイント（全国平均3.3）	2.8ポイント（全国平均3.0）
前向きにとらえる力	3.5ポイント（全国平均3.5）	3.4ポイント（全国平均3.3）

1年目の取組により自己理解・他者理解は進みました。2年目の課題として、自己理解と他者理解の更なる深化とともに、ペア・グループ活動や振り返りの充実・キラリコーナー等の実践を通して認め合う力を高めていく活動を推進していきます。

前向きにとらえる力が全国平均を上回りました。振り返りの充実を図り、キラリコーナー等を利用して共感する力を高めていきます。

2年目の新たな取組

2年目の新たな取組を紹介します。

- ☆ 学校キラリコーナーを設置します。
- ☆ 週報等で子どもたちの良い言動を紹介します。
- ☆ 教科等で振り返りを充実させ、見返したり次に生かしたりする活動につなげます。

学校
キラリ
コーナー

キラリ
ボックス



西原小学校の「心の教育」について御理解いただけたでしょうか。御感想をお寄せいただけるとありがたいです。

（ ）年（ ）組 名前（ ）